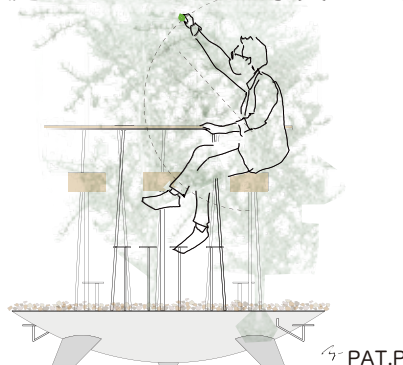


balanco

balanco furniture exhibition

Architecture as Furniture / Furniture as Garden / Garden as Architecture

家具のように小さな家 庭のように大きな家具 家のように内部をもつ庭



「チームバランコ」による最初の家具作品が、ミラノ市の歴史的建造物である旧鋳物工場を中心に、2つの期間、3つの会場にわたって展示されます。

— 展覧会概要 —

「家具」というカテゴリーに納まりきれない彼らの作品は furniture (furniture+architecture) と呼ばれ、展示に向けて（テーブルとイスと樹木が一体に）デザインされた「intree table」と「balanco table」の二つが、会場の屋内外に渡って設置されます。

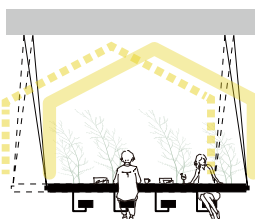
展示された furniture に座れば、誰もが新鮮な空間体験の中にどこかなつかしい原風景を重ね合わせて思わず笑顔になり、テーブルについての仲間たちと新しいコミュニティ空間の在り方を共有します。

「チームバランコ」の furniture は、空間上に不可視の境界をつくりだす「デバイス」となるようデザインされていて、その楽しい感覚は展示作品を通してだれでも体験可能です。

— 展示作品 1 — **intree table** （家具化された建築+庭）

intree table は公共空間に小さなプライベートスペースを作り出すためにデザインされた主に屋外用の furniture です。

木立の中に浮かんだテーブルで体を支えながら、小枝のようにスイングする座面に腰を下せば、木々に包み込まれた高い着座位置によって、きっとそこが完全なプライベート空間であることに気づきます。

— 展示作品 2 — **balanco table** （建築化された庭+家具）

balanco table はアムステルダムの beer bike に触発された、主に屋内向けの furniture です。

テーブルには様々な樹木がセットされて静かにあなたを待っています。ある時誰かが床を蹴ってスイングが始まると、テーブルに座ったメンバーは揺れる木立と共に一気に一体感に包まれ、きっとそこが周囲から切り離されて特別な場所になったことに気づきます。

— Fonderia Napoleonica Eugenia —

第三会場である Fonderia（ミラノの旧鋳物工場）では、furniture によるより大きなコミュニティ空間を感じ取ってもらうため、総重量 1000kg 近い 8 人用の balanco table が吊られ、その中庭には、5 人用と 9 人用の二つの intree table が設置されて、新しい領域体験を楽しんでもらえるよう計画されています。

— 同時展示 —

第三会場内では自然をテーマとしたアーティスト（jukai と Barbara Crimella）たちのインスタレーションも同時に展示されます。

一 展覧会概要一

展覧会名：balanco furniture exhibition

開催地：ミラノ市内及びその近郊

第一会場：Fiera Milano にて (Myplant & Garden に出展)

会期/住所：20-22 Feb 2019 / Strada Statale Sempione 28

第二会場：Brera 地区の Piazza S. Marco にて (milano Fuorisalone の dOT-san marco に出展)

会期/住所：8-14 Apr 2019 / 20121 Milano

第三会場：Isola 地区の Fonderia Napoleonica Eugenia にて (milano Fuorisalone 自主企画)

会期/住所：8-14 Apr 2019 / Via Genova Thaon di Revel 21

同時展示：ミラノ在住のアーティストの jukai と Barbara Crimella によるインスタレーション

パーティ (第三会場)：9 & 13 Apr 2019

会場時間：10:00~20:00

休館日：無

入場：無料

主催：チームバランコ

設営資材協力：GREEN DESIGN



一 展覧会 MAP 一

intree table [3 saets]

Fiera Milano / Piazza S. Marco

balanco table [2,8 saets]

Fonderia Napoleonica

intree table [5,9 saets]

Fonderia Napoleonica



代表：園三/田畑了 (ランドスケープアーキテクト)

：鈴木えいじ/大建設計・大建都市開発 (アーキテクト)

★ 広報担当：三輪斉子/ 園三 enzo.garden@gmail.com

会場デザイン：平松久典/大建設計

コンセプトドローイング：田中勇企/大建設計

アシスタント：鈴木智子/大建設計

写真撮影：Tololo studio / Hiroshi Tanigawa & Takashi Uemura

team balanco HP : <http://balanco.strikingly.com>team balanco FB : <https://www.facebook.com/balanco2018>

写真データをお使いになる場合は番号と必要な解像度を
広報担当：三輪斉子 enzo.garden@gmail.com までお知らせください

01 intree table



02 intree table



03 intree table



04 intree table



05 intree table



06 intree table



07 intree table



写真データをお使いになる場合は番号と必要な解像度を
 広報担当：三輪斉子 enzo.garden@gmail.com までお知らせください

08 intree table (コラージュ)



09 intree table (コラージュ)



10 intree table (コラージュ)



11 intree table (コラージュ)



12 balanco table (第三会場 Fonderia 内部写真コラージュ)



13 balanco table



14 balanco table



15 balanco table



team balanco

「チームバランコ」は岐阜を拠点とする造園家、建築家、家具メーカーからなる企業集団で、カテゴリーに捉われない新しいデザインを実現、製品化するために2018年に結成されました。



チーム企業

(株) 園三
<http://www.enzo-garden.net>

大建設計 (株) 大建都市開発 (株)
<http://www.daiken-arch.co.jp>

(株) 杉山製作所
<http://www.kebin.jp>

(有) F-Furniture 藤岡木工所
<http://www.fujioka-wood.co.jp>

タキセワークス

主なチームメンバー

園三ノ田畑了 (ランドスケープアーキテクト)

1975年 岐阜県生まれ。

2005年 GARDEN WORKS 園三を設立

2013-2015 名城大学非常勤講師

現在 園三 代表取締役

京都造形芸術大学非常勤講師

デザインから作庭までを手掛ける。作庭は住宅を中心とし、一つのスタイルにこだわらず、建築と庭の創りだす美しい風景を作ることを得意としている。住宅においても街に向けたオープンスペースの緑を創りいくつかの景観賞も受賞。イタリアでは2016年にイタリア最大のガーデンショー、オルティコラリオでアジア人初の金賞を受賞しコモ湖のヴィラルロッタからの要請で改修案を提案。また芸術活動にも積極的に参加し、国内では琵琶湖ビエンナーレに出展。ミラノフォーリサローネは4回目の出展である。講演活動や京都造形芸術大学他多数の講師として教育活動も行っている。

鈴木えいじ (建築家)

1954年 岐阜県生まれ

現在 大建設計/大建都市開発 代表取締役

愛知淑徳大学、大同大学 非常勤講師

建築空間を人の行為を誘発するデバイスと考え、従来のビルディングタイプにとらわれないプランニング手法と構造デザインを用いて建築を設計。

主な受賞歴として

・人口減少による断片化が進む地方都市のコミュニティ空間を復活させるための「モバイル建築」をデザインし、「SD Review SD 賞」「International Prize for Sustainable Architecture H M(IT)」等を受賞

・高齢者の空間認知力をよみがえらせる居住空間をデザインし、「グッドデザイン賞」、「医療福祉建築賞」等を受賞

島田 亜由美 (インテリアコーディネーター)

1967年 岐阜県生まれ

現在 株式会社杉山製作所 代表取締役

インテリアコーディネーターとしてのキャリアをもとに、自動車部品製造会社として1962年に創業した杉山製作所の熟練した技術とノウハウを生かし、2000年から新しい鉄の可能性を求め、鉄家具メーカーとして活動開始。デザイナーと鉄家具職人が同じ環境で仕事をする事で、鉄の可能性を引き出したデザインと機能性を合わせ待ったモノづくりを行う

現在は鉄家具にとどまらず、建材、店舗什器を展開し、国内展示会やメゾンエオブジェ2019年1月(パリ)での展示会にも出展。

新しい鉄のインテリアとしてデザインされた Wall Deco にて2017年「グッドデザイン賞」を受賞。

藤岡 功 (木工家)

1966年岐阜県生まれ

現在 F-Furniture 藤岡木工所 代表取締役

創業86年目の指物師の祖父、建具職人の父の跡を継ぐ3代目として木の特性を生かし、幸せを感じる家具づくりを行う。「置き家具のようなキッチン」をデザイン製作し、クライアントとともに「キッチンのある暮らし」を地域文化に定着させる活動として自社工場に併設してアトリエショップも運営

瀧瀬雄輝 (鉄職人)

1984年 岐阜県生まれ

現在 タキセワークス 代表

造園業、クレーンオペレーター、鉄工所等、様々な業種で経験をつみながら、2015年より溶接技術を生かしたフリーの職人として活動開始。

現在、大型鋼構造物からアートまで、ジャンルや工種にとらわれない創作者としてアイアンワークを展開。